

平成 24 年度 入学試験問題（前期日程）

小論文（人文学部国際社会コミュニケーション学科） 出題意図・解答例

（150 分、200 点満点）

出題意図（1000 字以内、100 点）

グローバリゼーションの進展は、世界中に画一的な文化を広げるという側面もあるが、これにより逆に各地方に存在する文化の特殊性が意識され、さらに伝統的な文化に新しい要素を加えることによって文化の復興にもつながる。グローバリゼーションが各地方文化に与えるこのような影響を理解し、その影響の内容を具体的に記述する能力を問う。

二

設問一 解答例（200 字以内、30 点）

風刺絵では、望遠鏡を通して大規模な救済政策を監視するブリタニアが、自分の足もとにいるやせ細った三人の子どもの存在に気づいていない。詩では、ロンドンの浮浪児が、アフリカの子と同じくらい貧困であるのに「なぜかまってもらえないの」と訴えている。つまり「国家レベルでの『望遠鏡的博愛』」とは、当時の大英帝国で、他国の支援にばかり専念し、自国の貧困問題を軽視した国家のアフリカ救済政策を批判した言葉である。

設問二 出題意図（800 字以内、70 点）

19 世紀イギリス、ディケンズの小説『荒涼館』と、週刊誌『パンチ』掲載の諷刺絵に共通して現れる「望遠鏡的博愛」という語彙のそこでの意味を正確に読みとった上で、「望遠鏡的博愛」の精神をどのように評価・批判できるかを見る。